

性能種別	性能評価項目		性能評価指標	要求水準	性能評価	試験方法・条件	備考
	項目	内容					
遠隔操縦の作業効率性	A-1	映像の解像度	遠隔操作室での映像が鮮明であること。	(当該技術の解像度) / (従来技術の解像度)	従来技術と同等又は同等以上であること。	値が大きい方が高性能	<ul style="list-style-type: none"> 重機に無線通信技術を設置し、現場にて重機から伝送される映像の解像度を確認する。 現場試験場所: 雲仙復興事務所管内を予定
	A-2	映像の安定性	重機から伝送される映像が安定していること。	(当該技術の遅延時間) / (従来技術の遅延時間)	従来技術と同等又は同等以上であること。	値が小さい方が高性能	<ul style="list-style-type: none"> 重機のカメラを通して送られる時刻と操作室の時刻を確認する。 映像に乱れ、コマ落ちが発生していないかを確認する 現場試験場所: 雲仙復興事務所管内を予定
	A-3	作業効率性	無人化施工の中継方式による掘削工(第2世代※)と比較して作業効率が同等以上であること。	(当該技術の一定規模当たり施工時間) / (従来技術の一定規模当たり施工時間)	従来技術と同等又は同等以上であること。	値が小さい方が高性能	<ul style="list-style-type: none"> 検証現場にて遠隔操縦による施工を行い、サイクルタイム等を計測する。 現場試験場所: 雲仙復興事務所管内を予定

※第2世代: 映像伝送システムを用いた無人化施工のうち、LAN等のネットワークを用いずアナログ無線通信にて遠隔操作式建設機械を操作する無人化施工